

# 自動化設備導入に必要な スキルを身に付けませんか

— 生産ライン自動化のためのレイアウト・自動化設備の設計研修 —

生産性向上や人手不足解消を目的に生産工程の自動化・効率化に取り組むときに必要となる「IE7つ道具」「ラインバランス」「デジタルファクトリー」に関する知識を実践的に学ぶことができる研修です。ロボット導入実績が豊富なシステムインテグレータ（Sier）が、各ツールの基礎知識から実践的に使いこなすための勘所や注意点など、実技を交えて研修を行います。

日時 令和4年12月16日(金)  
午前9時30分から午後4時30分まで  
場所 機械素材研究所（米子市日下1247）



## 内容

食品製造業で自動化検討対象としている作業を撮影したビデオ等を例に、各ツールを利用して自動化設備を検討する実技研修を行います。

### 【各ツール】

- IE7つ道具
  - ① タイムスタディ（時間研究）
  - ② 稼働分析
  - ③ 工程分析
  - ④ 作業分析（動作研究）
  - ⑤ レイアウト分析
  - ⑥ マテハン分析
  - ⑦ 事務工程分析
- ラインバランス
- デジタルファクトリーの活用事例紹介

受講者の方にスムーズに受講いただけるように、事前にテキストをお配りします。

## 講師

ものづくりテラス

代表

林 芳樹（ハヤシ ヨシキ）氏

民間企業でシステムエンジニアとして、通信制御システムの開発や製造支援システム等の構築など生産革新を推進。現在は独立し、企業のしくみづくり、従業員の意識改革等を支援。

## 対象者

- ・ 自動機設計・開発に携わる技術者
- ・ 生産管理や生産技術等の業務担当者の方
- ・ 生産性向上や人手不足解消にお悩みの方等

## 受講料・定員

- ・ 受講料 4,000円（税込）
- ・ 定員 10名

[申込方法] 申込期限12月9日(金)

センターホームページの申込フォームをご利用ください。

鳥取県産業技術センター 研修 検索

こちらのQRコードから ⇒



## 用語説明

### ■ I E 技術

IEとはIndustrial Engineeringの略で、工程管理技術の一つ。予算から原価管理、生産技術の開発や効率化など、経営上のさまざまな問題を工学的な手法にもとづいて合理的に推し進めていくことで、生産管理を最適化する手法。

IE7つ道具として、①タイムスタディ（時間研究）、②稼働分析、③工程分析、④作業分析（動作研究）、⑤レイアウト分析、⑥マテハン分析、⑦事務工程分析がある。

### ■ ラインバランス

ラインバランスは、工程間滞留や手待ち作業発生を抑止し、仕掛品（製造品）がよどみなく流れるように、生産ラインの各工程の作業量を均等化し、作業時間の差をなくすことである。

### ■ デジタルファクトリー

デジタルファクトリーは工場の形状や動作、性能や各部門、現場で取得したデータをデジタル技術によって数値化し、製造非不可価値作業の圧縮、ラインの無人化、実績データ解析による生産最適データ提供等により生産性・品質の向上、製造リードタイムの短縮等をはかる技術であり、しくみである。

## センターからのお知らせ

### ■ とっとりロボットハブをご活用ください！

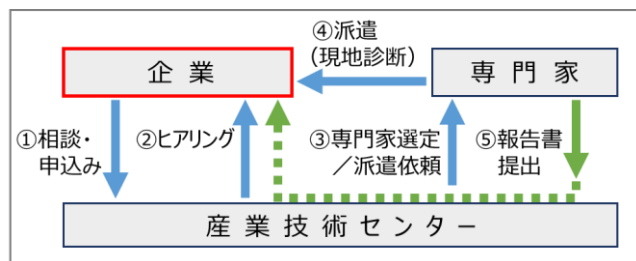
当センターでは、県内企業のAI・IoT・ロボット技術等の積極的な導入・活用の促進を目的として、「AI・IoT・ロボット実装支援拠点」（通称：“とっとりロボットハブ”）を活用した人材育成・導入支援の活動を行っています。

とっとりロボットハブでの事前検証のほか、持ち運び可能なロボットによる自社の生産ラインでの事前検証にもご活用いただけます。



### ■ ロボット導入・工程自動化の専門家を派遣します

生産性向上に取り組む企業に、工程改善やロボット技術の専門家を派遣し、ロボット等の生産効率化機器の導入を支援する活動も行っております。



- 費用：無料
- 回数：原則1社につき1回
- 申込期間：令和5年2月末まで



お問い合わせ先	
とっとりロボットハブ	機械素材研究所 担当：吉田（裕）、新見 TEL：(0859)37-1811（代表）
専門家派遣	電子・有機素材研究所 担当：吉田（大） TEL：(0857)38-6200（代表）